



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互に関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成25年(2013年)
8月20日
火曜日
第118号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3188 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

平成26年度 静岡県立高等学校学科改善

県教育委員会では、来年度、以下の学科改善を行います。

〈新たな学科へ〉

改善前	改善後
浜松商業高等学校(全日制)	
経理科	商業科
国際経済科	
情報処理科	(変更なし)

※商業科では、商業の各分野(会計・情報・マーケティング)を学習するとともに、生徒の興味・関心、進路希望等に合わせ、専門的な科目を学習します。

〈新構想高校の開校〉

改善前	改善後
大井川高等学校(全日制)	清流館高等学校
普通科	普通科
吉田高等学校(全日制)	福祉科
普通科	
福祉科	
二俣高等学校(全日制)	天電高等学校
普通科	総合学科
天電林業高等学校(全日制)	森林科
森林科学科	
環境システム科	環境科
建築デザイン科	
春野高等学校(全日制)	天電高等学校春野校舎
普通科	普通科

【学校教育課高課再編整備室 054(221)3113】



人権教育の手引き

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」



情報交換や議論を通し人権教育を考える

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

誰もが安心して過ごすことができる学校園に

日からの教育につなげていきたいと思います。

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」

「人権教育は教育活動全体で、リフレットでは、」



知事へ答申書を手交する上條会長

第8期静岡県生涯学習審議会が答申を手交

第2期静岡県教育振興基本計画作成に向けて

「有徳の人」を育む生涯学習社会—これからの静岡県における教育施策の方向性について—(答申の概要)

新たに盛り込むべき内容

1. 静岡県が目指す生涯学習社会
県民一人一人が、「有徳の人」を目指して、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習するとともに、その成果を生かしてよりよい社会づくりに参画し、行動する社会 *第7期静岡県生涯学習審議会答申(平成23年12月)による

2. 審議会の共通認識事項
○家庭、学校、地域、職場、企業と行政による連携・協働の一層の充実を図ること
○多様な人材の養成・活用を図ること
○「教育委員会と首長部局」及び「県と市町」の役割を整理し、一層の連携を図ること

施策の方向性を更に充実させる内容

1. 人間形成の基礎となる資質・能力の育成
(1) 家庭の教育力の向上 (2) 生きる力の基礎となる「確かな学力」の育成 (3) 学校や地域における体験活動の推進と家庭・地域・職場の教育力の向上

2. 開かれた学校づくりと学校を支える地域づくりの推進
(1) 学校支援地域本部の設置促進と、コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の効果的な実施に向けた研究 (2) 学校運営の改善と教職員の指導力向上を支える取組の推進 (3) 学校と社会教育施設、NPO、企業等との連携の推進

3. 生涯学習社会で育む「有徳の人」づくり
(1) 特別な支援を要する人への支援の充実 (2) 生涯を通じて学び続ける人々を支える取組の推進 (3) コーディネーターやキーパーソンの養成・活用と、学校、家庭・地域・職場のネットワークの構築

II これからの生涯学習社会において新たに必要なこと

1. 社会全体からの今日的な要請への対応
(1) 東日本大震災の教訓に学ぶ「命を守る教育」の推進 (2) いじめ等の課題への社会総力がかりによる対応の推進 (3) 急速に変化する社会の中で「生き抜く力」を育む学習の推進 (4) 家庭・学校・地域を結び絆を形成し、コミュニティと協働する施策の推進

2. 時代の潮流を踏まえた人材の活用と養成
(1) 多様な知識・技能や豊かな経験を持つ人的資源の活用 (2) 学校や地域における教育活動の推進役としてのシニア世代の活用 (3) 地域ぐるみの教育を推進する人材の養成

III これからの生涯学習社会づくりに向けに充実させること

1. 縦の接続と「横の連携・協働」の視点を重視すること

IV 施策を推進するに当たっての留意事項等

2. 「成果」と「課題」の両面から現状を分析すること

3. 「教育委員会と首長部局」及び「県と市町」における役割を整理し連携を推進すること

実践NOTE 255

9年間の学びと育ちを つなぐ「分かる・楽しい授業」を目指して

浜松市立舞阪中学校 教諭 中村 敦

舞阪の子どもたちは、約束を決め、集中して授小學校1校、中学校1校のため、9年間、同じメンバーと生活を送ることになります。子どもたちは都市部から離れた地域

「聞こえ方名人になろう」「聴く・話す名人になろう」という掲示物も作り、話合いや発表の場面で正確に伝えるスキルが身に付くよう指導しました。

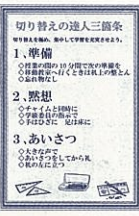
子どもが夢中になつて学ぶ授業

子どもが「やってみたい」「伝えたい」「話し合いたい」と思える、学びたいのある課題設定を考

一人一人がルールを自覚して取り組む授業

安心して自分の考えが言え、認め合える学級ルールを守る学級を作るために、小学校と中学校が学習ルールの共有化を図り、共通の内容で指導

「準備」「あいさつ」の



へんへん、なるほど。納得の実験。

友達と共に思考し、判断し、表現する授業

自分の思いや考え、感じたことなどを相手に伝え、それらを聴き手が感じ取る場面を設定しました。

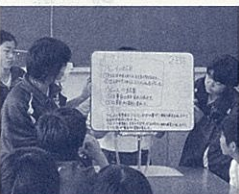
ホワイトボードに自分の考えを記し、発表しました。自分たちの考えを、自信を持って分か



自分たちの考えをホワイトボードにまとめる。

子どもが「やってみたい」「伝えたい」「話し合いたい」と思える、学びたいのある課題設定を考

ガリレオの実験に挑戦し、落下の法則について意欲的に調べようとして



分かりやすく伝わる発表を目指す。

系統性・関連性を押さえた授業

浜松版小中一貫カリキュラムを活用し、学習内容の系統性や関連性をとらえた授業構想を立てました。

伝え合いと学ぶ喜び

子どもは思考し表現する場面を与えれば、時間を忘れるくらい熱中するものです。子どもの笑顔も増えました。どうすれば相手思いを伝えられるのか、表現を工夫する姿勢も見られるようになりました。

これから学習では、子どもたちが夢中になつて学び、探究する授業を楽しみながら学びが確実に身に付く習得型の授業などに取り組んでいきたいと思



生徒にヒントを示す。(筆者右上)

実践NOTE 256

稲作活動を通して 学んだこと

下田市立大賀茂小学校 教諭 鈴木 清和



児童とともに田植え。(筆者右から2番目)

「稲作活動のことを多くの人たちに知ってもらいたい。全校のみんなにもお知らせしたい」という子どもたちの声から、稲作新聞を発行し、活動した

稲作新聞で みんなをつなげよう

「稲作活動のことを多くの人たちに知ってもらいたい。全校のみんなにもお知らせしたい」という子どもたちの声から、稲作新聞を発行し、活動した

「後ろに下がる時に、足跡を消してね」「そこで、まだ植えてないよ」「だんだん上手になつてきたね」「あと少し頑張つたこれば、5・6年生が苗を渡しながら下級生に掛ける声です。きっと自分たちもそうやって声をかけてもらつてきたのでし

受け継がれるもの、つなげていくもの

「後ろに下がる時に、足跡を消してね」「そこで、まだ植えてないよ」「だんだん上手になつてきたね」「あと少し頑張つたこれば、5・6年生が苗を渡しながら下級生に掛ける声です。きっと自分たちもそうやって声をかけてもらつてきたのでし

縦割り活動を生かすこ



下級生に稲作活動を説明する5年生。



苗の間隔に注意を払って植えました。



泥だらけでも夢中になつて活動。

とで高学年にはリーダー性が生まれ、自信も見られるようになりまし

「文芸コンクール」——どんな形に言葉で世界を切り取りますか

「短歌・俳句(高校生対象)応募締切り 9/15(日)」

「美術展——そこには手作りの宇宙が広がる——油彩画、日本画、水彩画、版画、デザイン、工芸、彫刻、造形 応募締切り 9/24(火)」

「合唱コンクール」——3人寄せれば歌唱の知恵—— 応募締切り 10/29(火)」

「演劇コンクール」——リアルタイムで観客と時間を共有—— 応募締切り 公演60日前 詳しくは各部門の募集要項を御覧ください。

問 文化政策課 054(221)2254

草原の国モンゴルへ

昨年の夏、本県とモンゴル国ドルノゴビ県との



華麗な民族衣装の現地の子どもたちと(筆者左から4番目)

に囲まれた草原の地であり、モンゴルにやってきたという実感が湧いてきます。教育施設への訪問や現地の祭りナードムで

出会った子どもたちは、自在に馬を乗りこなし、モンゴル相撲や弓で体を鍛える一方、華麗な民族衣装をまとい、馬頭琴の演奏や民謡を披露してくれました。まさに大地に育まれた子どもたちという印象を強く受けました。

今年1月には、ドルノゴビ県の高校生30人が本県を訪れました。マンガやアニメを好み、メールやインターネット、ゲームに夢中になる姿は、外見も含め、日本の高校生と全く変わらず、学校訪問では本県の高校生と瞬間に打ち解けていききました。現地では出会った子どもたちの姿の間にギャップを感じましたが、自分自身の先入観を反省するとともに、日本であれ、モンゴルであれ、高校生たちのしなやかさ、おおらかさに感銘を受けました。

しかし、彼らと接して感じたことは、日本の高校生に比べて、家族特を敬う気持ちが大変強いという点でした。いじめをなくすヒントがそのあたりにあるかもしれない。文科科学省をはじめ、いたるところでグローバル人材の育成が叫ばれており、この交流事業もそれに資するものであります。以前に、自分の国、地域さらには家族、友人を愛する心が求められているのではないのでしょうか。

さて、今月12日から17日にかけて、静岡県の高校生30人がモンゴルを訪問しました。180人を超える希望者の中から、心苦しい思いで選考をしましたが、内向き志向の若者が多いといわれる中、これほど多くの高校生がモンゴル訪問を希望してくれたことに頼もしさを感じるとともに、残念ながら選ばれなかった皆さんには大変申し訳なく思っています。

「ふじのくに」から訪問した30人の高校生が「草原の国」で、何を発信し、何を学び、感じ、そして何を持ち帰ってきたのか、報告がとても楽しみです。



モンゴルとの交流から学ぶこと

学校教育課 高校教育室長 岩城 明

出会った子どもたちは、自在に馬を乗りこなし、モンゴル相撲や弓で体を鍛える一方、華麗な民族衣装をまとい、馬頭琴の演奏や民謡を披露してくれました。まさに大地に育まれた子どもたちという印象を強く受けました。

モンゴルの高校生の訪問

しかし、彼らと接して感じたことは、日本の高校生に比べて、家族特を敬う気持ちが大変強いという点でした。

さて、今月12日から17日にかけて、静岡県の高校生30人がモンゴルを訪問しました。

環境教育・学習応援情報 子どもたちの環境意識を育む「こども環境作文コンクール」

県では、平成8年度から小・中学生の環境に対する関心を高め、理解を深めるために「こども環境作文コンクール」を開催しています。昨年度は、132校から約1,300作品の応募がありました。夏休み明けに、こども環境作文の提出があるかと思いますが、先生方には取りまめをお願いします。今年も自らの体験に基づいたすばらしい作品に出会えることを楽しみにしています。

○優秀作品を書いた小・中学生の中から数名を「こども環境大使」に任命
現在、中学生3人、小学生1人が大使として活動しています。大使たちは、国内外の環境研修に派遣され、現地でのエコツアーや地域の子どもたちとの交流を通して、環境問題について学びます。研修で自分たちが感じたことを大使からのメッセージとして、新聞やテレビなどを通じて、県民に環境保全活動の大切さと呼び掛けます。

○来静したハワイの「こども環境大使」と環境交流
7月初旬にハワイのこども環境大使が来静し、静岡の大使と交流研修を行いました。富士山に出かけて環境問題を考えて、静岡の大使が通う浜松市内の中学校を訪問して、生徒との文化交流をしました。また、自国の環境問題について体験を踏まえた報告やハワイ文化の紹介も行いました。

最終日は、OB・OGの大使も参加して、富士山の環境保全や自国のゴミ問題について、英語や日本語を交え、自分たちが何をすべきか討論を行いました。環境作文コンクールから、次世代の環境リーダーが育っていくことを期待します。



ハワイこども環境大使に環境保全について説明



富士山宝永火口で環境学習

問 環境ふれあい課 054(221)2919

中学校卒業程度認定試験を実施します

病気などやむを得ない理由で、小学校や中学校に就学できず、就学を猶予又は免除された方や日本国籍を持たない方が、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験です。合格した方には高等学校の入学資格が与えられます。(受験無料)

受験資格

- 次の(1)から(4)までのいずれかに該当する方が受験できます。
- (1) 就学義務猶予免除者又は就学義務猶予免除者であった方で、平成26年3月31日までに満15歳以上になる方
- (2) 保護者が就学させる義務の猶予又は免除を受けず、かつ、平成26年3月31日までに満15歳になる方で、今年度の終わりに中学校を卒業できないと見込まれることについてやむを得ない事由であると文部科学大臣が認めた方((4)に該当する方を除く。)
- (3) 平成26年3月31日までに満16歳以上になる方((1)及び(4)に該当する方を除く。)
- (4) 日本国籍がなく、平成26年3月31日までに満15歳以上になる方

願書受付期間 平成25年8月28日(水)～9月13日(金)(消印有効)
提出先 文部科学省生涯学習推進課

試験日/試験会場 平成25年10月28日(月)/静岡県教育会館(静岡市葵区駿府町1-12)

試験方法

- (1) 次の①から③までのいずれかに該当する方は、本人の願出により、ふりがな付き問題冊子の使用が認められるほか、(2)のAの検定試験の合格者は、国語の試験の免除が認められます。
- ① 日本国籍がない方
- ② 日本国籍で、2年以上継続して外国に居住し、平成22年8月28日以降に帰国した方
- ③ 上記に準ずる者として文部科学大臣が認める方
- (2) A～Eの検定試験の合格者は、本人の願出により、英語の試験の免除が認められます。

検定試験	実施団体	審査の級
ア 日本語能力試験	独立行政法人国際交流基金及び財団法人日本国際教育支援協会	N2(2級)以上の合格者
イ 実用英語技能検定	公益財団法人日本英語検定協会	3級以上の合格者
ウ 英語検定試験	公益財団法人全国商業高等学校協会	3級以上の合格者
エ 国際連合公用語英語検定試験	公益財団法人日本国際連合協会	E級以上の合格者

問・願書配布 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 県庁西館7階
県教育委員会学校教育課特別支援教育室 054(221)2090 054(221)3558

内部通報制度・外部通報制度のお知らせ

この制度は、皆さんが教職員の不正行為等を目にしたときに、県教育委員会に通報できる制度です。通報者のプライバシーは保護され、通報したことにより不利益を被ることはありません。通報は匿名でも可能です。

- 内部通報制度「静岡県教職員倫理ヘルプライン」
県立学校、県の教育機関等に勤務する教職員が利用できる制度です。
- 外部通報制度「教職員倫理110番」
県民の皆さん、市町立学校(静岡市立及び浜松市立は除く)に勤務する教職員が利用できる制度です。

■通報先(共通) 県教育委員会教育総務課 総務人事班監察担当
文書郵送先 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 054(221)2842
E-mail kyoiku-tuho@prefshizuoka.lg.jp
※静岡市立及び浜松市立の学校に勤務する教職員は、それぞれの市にお問い合わせください。

教職員のための季節レシピ⑤

豆腐とイカのアンチョビ味噌炒め



まだまだ暑い日が続きます。夏バテ予防に、ご飯のすすむ一品を追加してはいかがでしょう。

—材料(2人分)—(1人分のカロリー270kcal)

豆腐(木綿豆腐) 1丁(300g)、イカ(刺身用、スルメイカでよい) 100g、エリンギ 小2本、アンチョビ(フィレ) 4枚、万能ねぎ 10本、味噌 大さじ1、オリーブオイル 大さじ1

—作り方—

- 豆腐を6～8分割しキッチンペーパーに並べて水切ります。このとき重しをする必要はありません。
- イカは糸造りにします。(スーパーで切ってあるイカを使っても良いです。)
- エリンギは1/2にカットし縦に細く切りそろえます。
- ねぎは5cm程度に切りそろえます。
- フライパンにオリーブオイルを熱しイカとエリンギを炒め、火が通った頃にアンチョビと味噌を加えて炒めます。さらに豆腐を加えて強火にして味噌を絡めて最後にねぎを加え皿に盛ります。

ワンポイントメモ

- アンチョビが塩辛いので塩などの調味料は不要です。
- 豆腐は手でちぎっても良いです。
- イカ以外にえびやホタテ貝などの魚介類をつかっても良いです。またいろんなきのこを使っても良いですが、とろみのあるナメコは向きません。

【福利課 山田管理栄養士監修】



三つの「わ」を大切に!

～組織的な生徒指導は
教職員の間関係づくりから～

児童・生徒への関わりには、私たち教職員同士の間係が映し出されます。そのための「輪」「話」「和」、三つの「わ」を実践してみませんか?

一つ目は「輪」

問題行動等に遭遇したとき、児童生徒が発信する様々なサインに気付いたとき、つい一人で抱え込んでしまっているかもしれません。このようなとき、相談できる同僚がいることは大変心強いことです。2人、3人、と、小さな「輪」が生まれ、困ったとき、悩んだときに援助を求められる関係こそが、組織が機能する原動力になります。

二つ目は「話」

忙しい「余裕が無い」とは、学校現場でよく聞く声です。しかし、そんなときだからこそ、仕事とは少し離れた内容の話

や、雑談が必要ではないでしょうか。趣味の話、本の話、健康の話……。どんな内容でも話をすること、聞いてもらうことで心がリフレッシュします。心のもやもやを言葉に出してみましよう。何気ない「話」が明日への活力につながる、同僚性もより深まらせます。

三つ目は「和」

私たち教職員は、皆同じタイプの間ではありませんが、違っても当然です。違っているからよいのです。児童・生徒は、様々な価値観を持つ教職員に、数多く接していくからこそ成長していきます。

これら三つの「わ」を大切にしたい教職員間の良質な人間関係づくりが、組織的な生徒指導の実現につながります。

入づくり支援課
生徒指導支援班

秋の観音山の自然に触れてみませんか

第2回観音山オープンDAY

- 日程 9/7(土)9時～15時30分(受付9時～11時)
 - 内容 ハイキング、沢登り、沢遊び等(帰着後自由解散。正午より風呂に入ることができます)
 - 持ち物 弁当、飲料、タオル、替え靴(沢登り希望者)
 - 服装 長袖、長ズボン、帽子、軍手
- ※どなたでも参加可。事前申込み不要。参加費無料。

観音山アドベンチャーキャンプ

「グリーン、ナイト、ウォーター」の三つのアドベンチャーを通して観音山の大自然を体験しよう。



夜の観音山を探索する「ナイトアドベンチャー」

- 日程 10/26(土)・27(日) (1泊2日)
 - 対象 小学校4・5・6年(定員120人程度)
 - 参加費 5,000円
 - 申込み 8/30(金)～9/30(月) ※当日消印有効(郵送にて受付、応募者多数の場合は抽選)
- 観音山少年自然の家 053(545) 0111

みんなでソーレ!カヌーだよ、全員集合

初秋の焼津でカヌー体験。いつものとは違う秋の風を、参加者みんなで感じてみませんか。一緒に素敵な思い出を作ります。

- 開催日 ①9/15(日)、②9/29(日)、③10/6(日)
- 各回8時30分～
- 会場 県立焼津青少年の家及び小川港周辺
- 参加費 小学生以上900円、未就学児750円(昼食・保険料込)
- 募集人数 各回約60人(3歳以上)応募者多数の場合は抽選
- 申込締切 ①9/3(火)17時、②9/17(火)17時、③9/24(火)17時
- 申・問 県立焼津青少年の家 054(624) 4675

テクノカレッジ若年者コース入校生募集

県立技術専門校(愛称:テクノカレッジ)は、県が設置する公共職業能力開発施設です。高い就職率(ほぼ100%)、充実した設備、安い授業料、資格取得に有利な授業など魅力あふれる施設です。

- 対象 概ね30歳以下の就職に意欲がある方
 - 募集内容(第1期)
 - ・沼津テクノカレッジ(機械・電子・情報) 各科20人
 - ・清水テクノカレッジ(機械・電気・設備) 各科20人
 - ・浜松テクノカレッジ(機械・建築) 各科20人
- ※募集期間等の詳細は下記電話番号へお問い合わせください。
- 間 沼津055(925) 1071、清水054(345) 2032、浜松053(462) 5602
- 【職業能力開発課】

もしもの時に、あなたの力を!

大災害が発生した際に、文化財等の被災状況を県へ報告し、文化財等の救出・応急措置にあたるボランティアを募集しています。ボランティアの登録のためには下記の講習会の受講が必要です。

- 対象 災害時の文化財救済活動に御協力いただける方。(諸連絡をEメールで行うため、インターネット環境のある方に限ります)
 - 日程
 - (1)9/7(土) 森町文化会館第1研修室
 - (2)12/14(土) 富士市立博物館会議室
 - (3)26/11(土)焼津小泉八雲記念館多目的室
 - 各回13:30～16:20。各回とも同じ内容です。
 - 内容 文化財等救済体制、文化財の概要等
 - 定員 各会場20人(要事前申込み、先着順)
 - 参加費 無料
 - 持ち物 筆記用具 顔写真(登録証用縦25×横20mm 2枚)
- ※詳細、受講申込書は当課ホームページを参照ください。
- 申・問 文化財保護課 054(221) 3183

県立中央図書館 息抜きのスヌメ

今回は、県立中央図書館の知られざる「来館者を迎えてくれるモノ」たちを紹介いたします。

「〇〇〇」の手すり

正面入口から入館する時、ちよつと玄関前で立ち止まって上の窓を御覧ください。変わったデザインの手すりがあります。これは「静岡県」の文字をデザイン化したものです。よく見ていると、それらしく見えてきませんか?



「静岡県」のデザインの手すり

大理石モザイク壁画

次に皆さんを迎えてくれるのが大壁画。洋画家の矢橋六郎(1905～1988)氏の作品です。矢橋氏は岐阜県大垣市生



モザイク壁画

この他にも館外や館内に色々なモノがあるかも知れません。調べ物等の合間の息抜きに、探してみたいのがでしょうか。

【中央図書館総務課】

◆先週、静岡県の高校生がモザイク壁画の制作に挑戦しました。モザイクは、色紙や紙を貼って作るのですが、今回は大理石の破片を使って制作しました。大理石の破片は、色紙や紙よりも重く、貼る時も慎重に貼らなければなりません。しかし、その中でも楽しんでいたようです。

様々な体験をし、自分自身のため、周りの方々のために役に立ちたいと思っています。

文化祭・体育祭など 各イベントでご利用ください。卒業記念品もご提供致します。

みなさんのデザインで、オリジナルグッズを作ってみませんか?

オリジナルショップ **グッズ**

〈見積り無料〉お気軽にご相談下さい。

Tel.054-285-6502

〒422-8066 静岡市駿河区泉町5-33.1F
Fax.054-286-3041